様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
商業実務専門課程	医療ビジネス科		60 単位	7 単位	
工業専門課程	情報システム科 ITﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ		70 単位	7 単位	
	情報システム科 ｼｽﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱｺｰｽ		79 単位	7 単位	
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	出雲市教育長	2025.5.29 ～ 2027.6※	地域における人材育成アドバイス
非常勤	雲南市教育長	2025.5.29 ～ 2027.6※	地域における人材育成アドバイス
非常勤	出雲商工会議所会頭	2025.5.29 ～ 2027.6※	地域における人材育成アドバイス
非常勤	㈱コア取締役専務執行役員	2025.5.29 ～ 2027.6※	学校運営に係るチェック機能
非常勤	㈻帯広コア学園理事長	2025.5.29 ～ 2027.6※	学校運営に係るチェック機能
（備考）※選任後 2 年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

① 作成過程

教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。

学科ごとに様式を統一し、科目や内容、時間・単位といった基本情報だけではなく、担当教員・講師の実務経験、成績評価の方法等に至るまで漏れのないよう、かつ分かりやすいように作成を行う。

② 作成・公表時期

作成は前年度１月頃から３月にかけて行う。３月末には完成し、新年度オリエンテーションにて学生に配布を行う。また、ホームページ上での公開は６月までに行う。

授業計画書の公表方法	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。単位制の学科においては、所定の出席時間を満たし、試験に合格した場合に単位を認定する。成績の評価は以下の通りである。

【学則別表２より】

試験の評価は素点とし、100 点満点中 60 点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。

その評価は次のとおりとする。

・８０点　～　１００点 ---------- A（優）
・７０点　～　７９点 ---------- B（良）
・６０点　～　６９点 ---------- C（可）
・６０点未満 ---------- F（不可)

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学科・コース単位で全科目の合計点の平均を算出し、学科・コースごとにその一覧表を作成する。成績一覧は会議に諮り、承認を得た上で成績評価認定を行っている。 上記一覧表から、各学科の人数より下位 1/4 に相当する人数・点数を求め、かつ 50 点未満、50 点以上 60 点未満、60 点以上 70 点未満、70 点以上 80 点未満、80 点以上 90 点未満、90 点以上の 6 段階に分けた成績分布表を作成する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度 2 月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	出雲コアカレッジ
設置者名	学校法人斐川コア学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	専門課程	医療ビジネス科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	108単位	66単位	42単位	0単位	0単位	0単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30人	12人	0人	3人	8人	11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。 【学則別表２より】 試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。 その評価は次のとおりとする。 ・８０点　～　１００点 ---------- A（優） ・７０点　～　７９点 ---------- B（良） ・６０点　～　６９点 ---------- C（可） ・６０点未満 ---------- F（不可）

卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業の認定基準 　履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度２月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。 進級の認定基準 　当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。
学修支援等
（概要） 　担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。 　就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7 人 （100%）	0 人 （0%）	7 人 （100%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） 保険医療機関			
（就職指導内容） 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医師事務作業補助技能認定試験、調剤報酬請求事務技能認定他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13　人	0　人	0　%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 　欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	情報システム科 （IT ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	116 単位	34 単位	82 単位	0 単位	0 単位	0 単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
30 人	18 人	0 人	（3 人）	（8 人）	（11 人）

（学科での人数）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。

【学則別表 2 より】

試験の評価は素点とし、100 点満点中 60 点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。

その評価は次のとおりとする。

・８０点　～　１００点 ---------- A（優）
・７０点　～　７９点 ---------- B（良）
・６０点　～　６９点 ---------- C（可）
・６０点未満 ---------- F（不可）

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定基準

履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度 2 月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。

進級の認定基準

当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。

学修支援等
（概要） 担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。 就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8 人 （100%）	0 人 （0%）	7 人 （87.5%）	1 人 （12.5%）
（主な就職、業界等） IT 業界			
（就職指導内容） 就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ、模擬面接			
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート、基本情報技術者試験他			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18　人	1　人	5.6　%
（中途退学の主な理由） 体調不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工業	専門課程	情報システム科 （ｼｽﾃﾑｴﾝｼﾞﾆｱｺｰｽ）	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	117単位	25単位	92単位	0単位	0単位	0単位

学生総定員数	学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
50人	52人	0人	（3人）	（8人）	（11人）

（学科での人数）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

教育理念・方針・学科目標に基づきかつ教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会等での指摘改善事項を踏まえた上で、各学科の担当者が授業計画書を作成し、学科内の会議において科目間の連携や学修効果などを検討し修正したものを学科長が確認し、校長が承認する。

成績評価の基準・方法

（概要）

授業計画書に明記された成績評価の方法（出席状況、試験やレポート、卒業研究発表・論文など）により成績評価を行う。成績の評価は以下の通りである。

【学則別表2より】

試験の評価は素点とし、100点満点中60点以上をもって認定とする。但し素点には教科担当者の裁量により出席率および平常の学習の評価を加味することができる。

その評価は次のとおりとする。

・８０点　～　１００点 ---------- A（優）
・７０点　～　７９点 ---------- B（良）
・６０点　～　６９点 ---------- C（可）
・６０点未満 ---------- F（不可）

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業の認定基準

履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、卒業予定年度2月末開催の卒業判定会議を経て学校長により卒業が認定される。

進級の認定基準

当該学年で履修すべき必修科目及び選択科目（自由選択科目を除く）をすべて履修し、単位認定された者は、会議を経て学校長により進級が認定される。

学修支援等

（概要）

担任制とし、学力・意識に応じた個別の学修計画を立てている。個別面談や補習・補講を実施。

就職担当者が、履歴書・面接指導等を行い、就職支援を行っている。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 （100%）	0 人 （0%）	22 人 （88%）	3 人 （12%）

（主な就職、業界等）

IT 業界

（就職指導内容）

就職対策講座、個人面談、学内企業説明会、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ、ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ、模擬面接

（主な学修成果（資格・検定等））

応用情報技術者試験、基本情報技術者試験他

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
60　人	4　人	6.7　%

（中途退学の主な理由）

体調不良、進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）

欠席連絡がない場合はその日の朝のうちに担任が連絡をし、状況を確認している。個別面談や保護者面談を行い、必要であれば専門の支援を受けられるようサポートを行っている。

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
医療ビジネス	180,000 円	600,000 円	300,000 円	
情報システム	180,000 円	600,000 円	350,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己点検評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

第三者評価の基本方針（実施方法・体制）

・学校の教職員自身が教育活動を常に見直し学校運営の状況を把握する。
・早期に課題等を発見できる体制をつくる。
・学校と保護者・地域をつないで相互の連携協力を深める。
・学校評価について全教職員で共通理解を図り十分に意見交換を行い、学校改善に向けて取り組む。（責任者を校長とし、すぐに改善できる課題は評価年度の翌年度から、長期的な課題については評価年度の翌年度に方策を検討し、3 年あるいは 5 年計画で対応する）
・委員の選出区分は下表の「種別」欄記載内容に基づき、7 人で構成される。

（評価項目）

教育理念・目的・育成人材像等、学校運営、教育活動、教育成果、学生支援、教育環境
学生の募集と受入れ、財務、法令等の遵守、社会貢献

第三者評価の委員

所属	任期	種別
島根県議会議員	2026.4.1～2027.3.31	学識経験者
出雲市議会議員	2026.4.1～2027.3.31	学識経験者
元飯南高等学校校長	2026.4.1～2027.3.31	高等学校関係者
斐川町商工会事務局長	2026.4.1～2027.3.31	地域企業等委員
NPO 法人ﾐﾗｲﾋﾞｼﾞﾈｽいずも 事務局長	2026.4.1～2027.3.31	地域企業等委員
出雲コアカレッジ父母等代表	2026.4.1～2027.3.31	父母等
出雲コアカレッジ卒業生	2026.4.1～2027.3.31	卒業生

第三者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/
（備考）
第三者評価は未実施（令和 10 年 9 月実施予定）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.icc.core.ac.jp/disclosure/

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H132320300076
学校名（○○大学 等）	出雲コアカレッジ
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人斐川コア学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		16人（―）人	18人（―）人	18人（―）人
内訳	第Ⅰ区分	― 人	― 人	
	（うち多子世帯）	（ ― 人）	（ ― 人）	
	第Ⅱ区分	― 人	― 人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ ― 人）	
	第Ⅲ区分	― 人	― 人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ 0 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	― 人	0 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	― 人	― 人	
	区分外（多子世帯）	― 人	― 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0）人
合計（年間）				18人（―）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	0人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	― 人	― 人
計	人	― 人	― 人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。